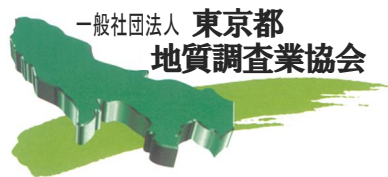


東 地 協 ニ ュ ー ス 2025.12 第 48 号



災害から命を守るのための知恵と知識

(一社)東京都地質調査業協会

理事 山崎 晴雄

(東京都立大学 名誉教授)

地球温暖化が急速に進む中、自然災害、特に風水害の様子が大きく変わってきている。線状降水帯やゲリラ豪雨によって、めったに出ないはずの時間雨量 100mm 以上の「記録的短時間大雨情報」が各地で頻発されるようになってきたのである。これは、日本のどこでも水害や崩壊などの災害リスクが高まって来ていることを示している。そして、警戒レベル 5 に当たる「大雨特別警報」が発令されるような場合、その地域に危険が差し迫っている可能性が高く、他者の救助は期待できず自分の命を自分で守るような行動が必要になる。その時、我々のように普段、安全・安心な社会の中で災害のことなど何も考えずに暮らしている人々は、実際どうしたら良いのだろうか。このような場合には危険を避ける咄嗟の判断が重要になると思う。私は咄嗟の判断に最も役立つのは、災害の経験と知識だと考えている。しかし、好んで災害を経験することはできないので、災害の知識を深めておく必要がある。

日頃から地盤調査や防災に取り組んでいる東地協の会員は別として、多くの日本人にとっては、災害の知識を得ることの優先度は決して高くはない。しかし、命の危険を避ける咄嗟の判断の必要性が増す中では、災害リスクや災害知識の普及は必須事項なのである。だが、これは学校で授業を受けたり教科書や専門書を読んだりすることではない。水は高きから低きに流れること、出口が狭ければ川は溢れること、高いところにある物は下に落ちること、等の自然の摂理さえ皆が知っていれば、危険はかなり避けられると思う。これは知識というより知恵である。広辞苑によれば、知恵とは物事の理を悟り、適切に処理する能力のことである。

しかし、大事なことは、知恵は自然に沸いてくる訳ではない。知識が無ければ知恵は出て来ないのである。この知識とは災害がどんな場所(地形)で起きているのかを理解しており、かつ、自分が今どんな場所に居るのかということを知っていることである。これから自分の居る場所での危険を避ける知恵が生じるのである。これも無理に地理や地形の勉強をしということではない。そんなことよりも、洪水や崩壊の災害ニュース報道をしっかりと見ておくことが、知識や経験を得る重要な手段であると思う。他人の不幸を利用して本当に申し訳ないが、災害報道の中からどんな場所でどんな災害が起きているのかを学ぶことができれば、自分の周辺の景色などと照らし合わせて、間接的に災害を経験することになるのである。

ただ、災害報道が我々の期待に沿ったものになっているかも考える必要がある。先日、ある崩壊事故のニュースを見ていたら、画面に映るのは道に崩れてきた土砂の様子だけ。地名はともかくとして、個人情報保護もあるだろうがどんな場所(地形)でこの崩壊が起きたのか、崩壊が発生した場所の周辺の様子(地形)をもっと詳しく紹介して欲しいと思う。ともかく、より多くの人々に災害の知恵と知識の必要性を理解していただければ、益々激しくなる自然災害(風水害等)に対応できるのではないかと考えている。

● 会議報告等



○ 理 事 会

1. 令和 7 年度 第 2 回

日時：令和 7 年 7 月 1 日（火）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第 7 回災害対策セミナー in 東京について
- (3) 東地協技術ノート「千葉県 HP リンク掲載」について
- (4) 建設業の働き方改革の実現に向けた取組の実施について
- (5) 東京都災害協定「協力要請に係る連絡体制表」
- (6) 総務・広報委員会
 - 1) 第 2 回委員会報告（6 月 5 日）
- (7) 技術委員会
 - 1) 第 2 回委員会報告（5 月 21 日）
 - 2) 第 3 回委員会報告（6 月 18 日）

2. 令和 7 年度 第 3 回

日時：令和 7 年 9 月 17 日（水）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 東京都「建設局出先事務所」意見交換会について
- (3) 大学生を対象とした「地質調査業の紹介」説明会について
- (4) 東京都議会立憲民主党

「令和 8 年度東京都予算ヒアリング」について
- (5) 東京都議会自由民主党

「令和 8 年度東京都予算要望書」提出
- (6) 第 7 回災害対策セミナー in 東京について
- (7) 令和 7 年度 東京都建設局「災害対策研修会」

講師派遣について
- (8) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会について
- (9) 総務・広報委員会
 - 1) 第 3 回委員会報告（7 月 3 日）
 - 2) 第 4 回委員会報告（8 月 4 日）
 - 3) 第 5 回委員会報告（9 月 5 日）
- (10) 技術委員会
 - 1) 第 4 回委員会報告（7 月 16 日）
 - 2) 第 5 回委員会報告（8 月 29 日）

3. 令和 7 年度 第 4 回

日時：令和 7 年 10 月 30 日（木）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 東京都「建設局出先事務所」意見交換会開催結果
- (3) 北多摩南部建設事務所 所内勉強会開催について
- (4) 東京都「財務局・建設局意見交換会」要望事項について
- (5) 大学生を対象とした「地質調査業の紹介」講義資料について
- (6) 東地協ニュース第 48 号（12 月刊行）巻頭言執筆者について
- (7) 総務・広報委員会
 - 1) 第 6 回委員会報告（10 月 24 日）
- (8) 技術委員会
 - 1) 第 6 回委員会報告（9 月 24 日）

4. 次回理事会開催予定

日時：令和 8 年 1 月 16 日（金）



☆ トピックス(協会行事等紹介)

◎ 令和7年度 防災協定に基づく

支援実施体制の試験運用結果

日 時： 令和7年 8月 6日(水) 13:00

内 容： 災害が発生したと想定し、当協会より上記の日時
防災協定ご担当者に支援要請のメールを配信し、
対応できる支援内容を返信して頂きました。

参 加： 24 社 (内 24 社返信あり)



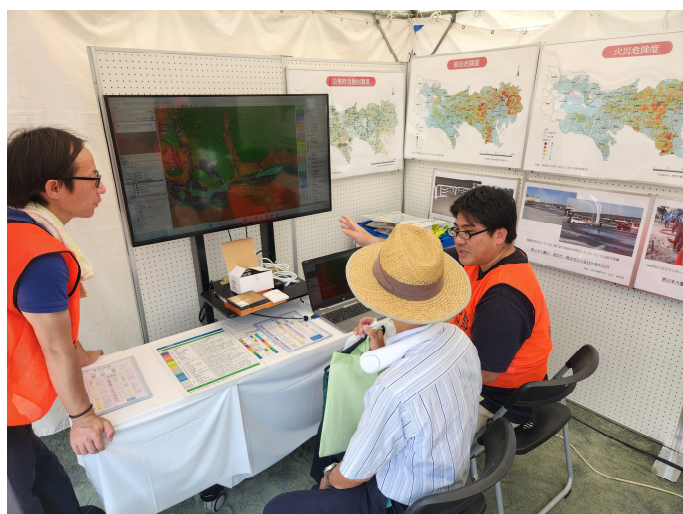
◎ 令和7年度 東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練

[防災展示]

日 時： 令和7年 8月 31日(日) 13:00～16:00

会 場： 日の出町民グランド

内 容： 地盤検索、パネル展示、液状化実験装置の実演



◎ 船で巡る東京港と地盤環境・防災講習会

日 時： 令和7年 9月 4日(木) 9:50～16:00

会 場： 青海船着場より「東京みなと丸」乗船
青海フロンティアビルにて講習会

内 容： 東京港視察船「東京みなと丸」にて東京港見学
講習会「東京湾岸エリアの地盤環境と防災」

講 師： 協会技術委員会 社会貢献部会

技術委員 富山 恵介

技術委員 徳留 亮

参加者： 10 名



◎ 講師派遣

1) 東京都建設局への研修講師派遣

※ 東京都土木技術支援・人材育成センターからのご依頼

研修名：「災害対策科」

2日間の研修のうち、下記のパートを担当

日 時： 令和7年7月31日(木) 9:30～10:15

方 式： オンライン講習

対 象： 災害対策事業に携わる職員 等

内 容： 東京における災害時の地質リスク

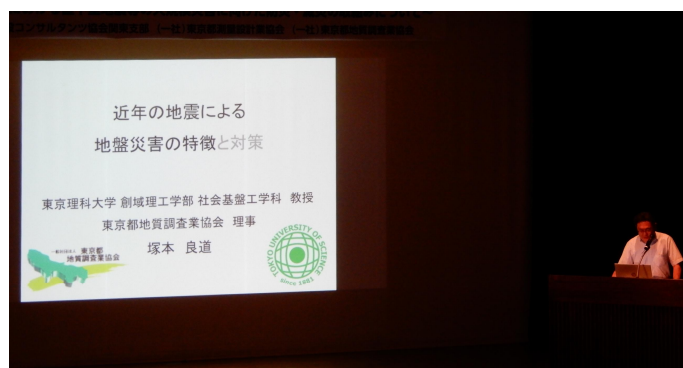
講 師： 技術委員長 川井 康右

◎ 第7回「災害対策セミナーin 東京」※ 3 団体共催

主 催：(一社)東京都地質調査業協会
(一社)東京都測量設計業協会
(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部
後 援：東京都
日 時：令和7年9月30日(火) 13:00～17:00
会 場：新宿区立角筈ホール

内 容：
【基調講演】

『近年の地震による地盤災害の特徴と対策』
東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科
教授 塚本 良道 氏 (協会外部理事)



【東京都及び各団体の防災・減災の取組みについて】

『東京都における災害時への取組みについて』
東京都総務局, 建設局, 港湾局
『災害対策に向けた東京都測量設計業協会の活動報告』
(一社)東京都測量設計業協会
『東京都における災害時の地質リスク』
(一社)東京都地質調査業協会
講師：技術委員長 川井 康右
『災害時における建設コンサルタンツ協会の取組み』
(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部



◎ ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会(秋期)

※ 協力：東邦地下工機(株)
後援：(一社) 全国さく井協会
(一社) 日本アンカー協会
(一社) 全国特定法面保護協会
(一社) 日本グラウト協会
(一社) 関東地質調査業協会

日 時：令和7年10月17日(金), 18日(土)
場 所：＜学科＞ エッサム神田ホール (東京都千代田区)
＜実技＞ 東邦地下工機(株) (東京都品川区)
講 師：東邦地下工機(株) 企画開発本部
片山 浩明氏 (協会外部理事)

内 容：
＜学科＞ ① ボーリングマシンに関する知識
「基礎知識・構造」「運転及び点検・整備」
② ボーリングマシンの運転に必要な
一般事項に関する知識「施工・力学と電気」
③ 関連法令「関係法令・災害事例」
＜実技＞ 運転及び安全のため合図, 運転実技
参加者：49名

＜学科講習＞



＜実技講習＞



◎ R7 年度入職者勧誘活動「大学生対象セミナー」

日 時	会 場	受講者
10月27日(月)	東京海洋大学 品川キャンパス	3年生中心 43名
11月5日(水)	東京理科大学 野田キャンパス	3年生中心 50名
12月5日(金)	千葉工業大学 新習志野キャンパス	2年生中心 約150名

内 容：①地質調査業の概要と業務内容
②洋上風力発電業界の現状と将来展望
③地質調査の具体的な流れと技術
④キャリアパスと業界の魅力

講 師： 技術委員長 川井 康右 (全大学)
総務・広報委員 根岸 利昌 (海洋大)
総務・広報委員 大野 弥治 (理科大)
総務・広報委員 堤 康一 (千葉工大)

<東京海洋大学>



<東京理科大学>



◎ 東京都との意見交換会(建設局)

東京都建設局との意見交換会を開催し、協会活動を報告すると共に、都が発注する地質調査業務に対する要望を提示しました。

【東京都 建設局】

日 時：令和7年11月25日(火) 10:30～11:30

場 所：都庁第二庁舎 5階 5B会議室

出席者：[東京都建設局 9名]

小野技術管理課長
山本企画課建設 DX 推進担当課長
渡技術管理課課長代理 (調整)
飯嶋技術管理課課長代理 (設計)
清水技術管理課課長代理 (積算)
楠田技術管理課課長代理 (施工)
森田技術管理課課長代理 (技術支援調整)
須藤技術管理課主任 (設計)
長澤企画課課長代理 (総務)

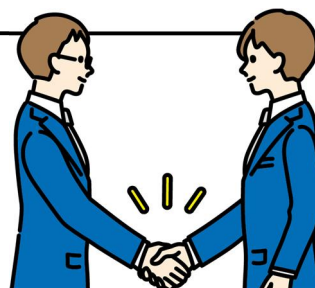
[東京協会 8名]

網代会長
長谷川副会長
岡部専務理事 (事務局長)
川井技術委員長
蓑輪総務広報委員長
杉浦総務広報副委員長
猿田総務広報委員
吉田総務広報委員

議 事：1) (一社)東京都地質調査業協会の活動状況
2) 意見交換

◆建設局への要望事項

- ①東京都建設局積算基準 (調査・設計編：令和7年10月版) に準拠した適正な仕様・費目の計上
- ②適切な工期の設定
- ③見積徴収単価における機械損料等の開示
- ④設計変更の適正な履行



■ 会員(正会員・賛助会員)動静

(1)代表者変更

・(株)サムシング

[新] 代表取締役社長 成田 芳文 氏

[旧] 代表取締役社長 前 俊守 氏

・大日本ダイヤコンサルタント(株)東京事務所

[新] 所長 福居 福太郎 氏

[旧] 所長 長田 宏之 氏

住所・代表者・会社名等の変更がございましたら、
お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。

協会事務局 TEL 03-3252-2963)

▲ 行事日程

日程	行事名・内容等
12月22日(月)	(東京) 東京都 財務局との意見交換会
1月19日(月)	(関東) 新年賀詞交歓会
4月頃	(東京) R8年度 ボーリング講習会(春) [予定]
5月頃	(東京) 第42回定時総会
5月18日(月)	(関東) 第12回定時総会
7月5日(日)	(東京) 東京都・江戸川区 合同総合防災訓練

お 店 紹 介

銀座ロオジエ(フランス料理)

年に一度のご褒美や記念日にいかがですか？今回ご紹介するのは、銀座の中心に佇む、資生堂が経営する三つ星フレンチ「ロオジエ」です。



東京都中央区銀座 7-5-5
電話(0120-156-051
/03-3571-6050)

銀座の並木通り
資生堂本社ビル一階にあります。

おすすめはランチの一番お手頃なコース。構成はシンプルながら内容は充実しており、フレンチをしっかりと堪能できます。

取材日には、繊細な前菜に続き、メインにラカン産ピジョン（鳩）のローストが登場しました。しっとりとした旨みと香りが広がり、フランス料理の奥深さを感じる一皿です。

さらに楽しみなのが、食後のワゴンサービス。余裕があれば、まずはチーズワゴン（別料金）から好みの種類を選ぶことができます。そして、ロオジエ名物ともいえるフイヤンディーズのワゴンが続きます。

マカロンやショコラなど、宝石のような小菓子が美しく並び、なんと選びたい放題。これを目当てに訪れるファンも多いほどです。

ロオジエは予約困難店として知られますが、実はコツがあります。予約は「当月から3か月先の月末まで」。月初の営業日10時に電話すると比較的つながりやすく、20分ほど粘ると予約できることが多いです。ぜひチャレンジしてみてください。

(T.N)



■ 編集後記



編集すらしていない私が後記を書きます、とまあ自分の年齢も全体からみれば後記っぽくなってきました。

此の頃は、入社2年目の若手にいろいろ教えているところです。ところが今の自分がよく分かっていなくて、こっそりかくれて調べ直している状態です。

その若手の社員は内向的で、社内でも大丈夫かなあ、みたいな見方をされていました。しかしどこでスイッチが入ったのか、彼の心に働きかけたのかは不明のまま、この半年は結構活躍してくれています。

かつては「開発」「新設」が仕事の主な目的でありましたが、「維持」「防災」を前面に出すように転換しており、またそれが、若い世代にわかってもらえる視点なのかなとも思ったりしました。そこにちよつとでも貢献できれば、彼はちょっと嬉しいかもしれませんし、私の場合は嬉しいと思います。

あれこれ考えて実のところ、彼のやる気の源泉はどこからくるのか、今も分かりません。

(M・O)



東地協ニュース 2025.12 第48号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<https://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp

2026年も よろしくお願ひいたします

